

平成22年度環境測定分析検討会統一精度管理調査部会(第1回)
議事要旨

1. 日時

平成22年5月27日(木)14時00分～16時30分

2. 場所

航空会館 B101会議室

3. 議題

- (1)平成21年度調査結果について(報告)
- (2)平成22年度調査計画について
- (3)平成21年度調査結果説明会及び平成22年度ブロック会議について
- (4)その他

4. 出席者

(検討員)青笹委員、稲葉委員、植弘委員、岡井委員、四ノ宮委員、西村委員、
牧野委員(座長)、松田委員、松本委員、山本委員、吉永委員
(事務局)環境省:水・大気環境局総務課環境管理技術室 岩田室長、高野補佐、重松企画係
(財)日本科学技術振興財団:榎水氏
(財)日本環境衛生センター:西尾、並木、加藤

5. 議事

議事に先立ち座長の選任が行われ、牧野委員が座長に選任された。

・議題(1)平成21年度調査結果について

平成21年度調査結果については、前回(平成21年度第4回調査部会)から変更のあった部分について説明があり、了承された。

調査結果の概要(案)について、平成22年度第1回検討会の検討結果を踏まえて説明があり、了承された。

・議題(2)平成22年度調査計画について

平成22年度調査計画(実施計画、実施要領素案)について説明があり、試料・項目の概略が以下ようになった。

基本精度管理調査

土壌試料(実試料):汚染土壌中の鉛、ふっ素、カドミウム、カルシウムを候補とし、試料調製した土壌を測定した結果、濃度が低かった場合は他の項目も考える。次回会議までに測定し、その結果から対象を決定することとなった。

高等精度管理調査

模擬大気試料:詳細項目としては、昨年度精度の良くなかった項目を含め、ベンゼン、1,2-ジクロロエタン、四塩化炭素及びトリメチルベンゼン類となった。次回では調製方法(可能な

項目と濃度等)を資料とし、検討することとなった。

模擬水質試料:農薬とその他(PFOS等)を分けて試料調製し、PFOSに参加する機関からは
確約書が必要とし、濃度等の詳細は次回とした。

底質試料(実試料):分析方法としては、パックドカラム - GC/ECD、キャピラリーカラム - GC/
ECD、キャピラリーカラム - 四重極型GC/MS及びキャピラリーカラム - 高分解能型GC/MS
の4種類とし、今回は採取した底質の分析結果からの検討とした。

・議題(3)平成21年度調査結果説明会及び平成22年度ブロック会議について

平成21年度調査結果説明会(案)及び平成22年度ブロック会議(案)について、その概要の説明があり、了承された。次回では、主に講演内容の検討となった。

・議題(4)その他:平成22年度スケジュール、地方自治体での分析業務状況及び精度管理マニュアル(案)、本調査のあり方について

「平成22年度調査のスケジュール」について説明があり、次回会議は次月中旬として了承された。

「地方自治体における環境測定分析業務の状況及び精度管理マニュアル(案)」について説明があり、了承された。

「本調査のあり方」については、これから改訂を考えており、そのために調査対象の試料・項目の希望等に関して、参加機関へアンケートを行うこととし、詳細は次回に検討とした。

以上

本議事要旨は、事務局の責任において作成したものであり、今後修正となる可能性があります。